

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	40%	40%	20%	定員になった時には大きな動きをする活動になると手狭となるため活動を工夫して安全に楽しく過ごせるようにしています
	2	職員の配置数は適切であるか	20%	60%	20%	時間を決めてトイレを済ますなどの工夫や配置された職員数で可能な範囲でのサービス提供(プログラム立案など)を行っています。また活動中に気持ちが落ち着かないなどで、その場を離れる場合、支援が手薄になってしまいやすいため、代わりに対応できる職員の確保や連携も検討しています
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		20%	80%	第三者による外部評価は、受けていませんがセンター内の医師・スタッフからの情報を取り入れたり、相談することで直接事業に携わっているスタッフ以外の視点も入よう工夫したり、院内研修にて活動内容を報告し意見をもらっています
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	60%	40%		院内研修にて活動内容を報告したり、個々で学習しています。学んだ内容を共通認識するためにミーティングを活用しています

適切な支援の提供

9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80%	20%		SDQ,WAVES,読み書きチェックリストなどを使用しています
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	40%	40%	20%	基本的に各曜日のリーダーが活動プログラムを考え、打ち合わせ等で他のスタッフと検討する工夫をしています
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		60%	40%	休日は実施していませんが事前に1クール分の活動内容は大まかに決め、読み書き、SSTの課題に応じてきめ細かく目標設定しています。また支援している児の様子に応じて声掛けや目標等を確認して対応するよう工夫しています
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	80%	20%		SST や読み書きの支援内容に合わせて活動を工夫しています
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80%	20%		役割を担う職員が参画しています
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	40%	20%	40%	送迎を行っていないため、送迎時の学校とのタイムリーな情報共有は行えていませんが、保護者からの聞きとり、学校の情報収集をするなどの工夫をしています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		20%	80%	現在、医療的ケア児は受け入れていませんが、今後そのようなケースがある場合は、主治医と連携して支援方法などを検討していきます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	80%		20%	保護者を通じての情報収集や、必要に応じて利用状況を把握するようにしています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		20%	80%	対象を小学生としており障害サービス事業所へ移行するような利用者はおりません
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	40%	20%	40%	今後、研修を受けられるよう検討しています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		20%	80%	学童を併行利用している子どもについて情報提供する機会が作れるか検討していきます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			

保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	80%	20%		保護者同士の繋がりを作る目的で懇談会を実施しています

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	60%	40%		頂いた相談やご意見に迅速に対応するための役割作りや職員間の情報共有方法について改善していきます
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	40%	40%	20%	クール開始時に予定表を配布したり、欠席しがちなお子さんや見学できない親御さんに対してその日の活動概要をお便りにてお伝えするよう工夫しています
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			100%	コロナ対策等もあり事業所としての行事自体が少なかったが、活動内容を知ってもらうような機会を今後検討していきます

非常時等の対応

38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60%	40%		保護者へは契約時に説明しています
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		20%	80%	食事の提供はしていません
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			